

ロ、場所 湯の川「鱗」 ハ、会費 2,000円也
 アッセンブリー終了後新春を祝して一夜を楽しく過したいと思います。

2. ローターアクトクラブ結成式

イ、日時 1月27日(水) 17時30分登録、18時開始
 ロ、場所 市民会館

ローターアクトの方より出席義務者として会長、幹事、ローターアクト委員長及び理事を指定して来て居ります。皆様御多忙の中ではありますが、はじめてのケースでもありますし多数御出席下さいませよう御願ひ致します。

◎ニコニコボックス

山内(文)会員：なんとなく。本日は誠にありがとう御座います。

◆映 画「此の麗しき山河を」 防衛庁提供

それぞれの民族は麗しい山河に充ちあふれた夫々の国に生を謳歌して居る。たとえ日本の様に公害に毒された国土といえども、その一人一人の心の奥底には祖先の霊とともに祖国を護り抜くそして民族の永遠の繁栄を祈る心があるはずだ。「国破れて山河あり」とは現代世界にとっては死言にも等しい。国破れば即ち山河なし。原子力戦の現代、我々はいかにして祖国を守り、民族として永遠の発展をなし得るか、此の事には無関心では居られまい。此の映画は東洋諸国のそれぞれの国情、そして国防に対する各国様々の現情を伝えて観る者をして現代のきびしい世相をまざまざと喚起して居る。(R.S.生)

★世界のローターアクト (1970.9.28現在) (ロータリーの友1月号より)

617クラブ (46ヶ国) 11,500名

日本のローターアクト (1970.11.5現在)

	クラブ数	会員概数
第350地区	—	—
第351地区	2	46
...
合計	75	1,832

☆「雑誌週間にちなんで」 (ロータリーの友1月号より)

(1月24日(日)～30日(土)は雑誌週間に指定されている)

- 雑誌週間の目的 ロータリアン誌およびレビスタ・ロータリアン誌に対する会員の認識と関心を深め、それによって購読部数の増加をはかることが目的である。
- ロータリアン誌の内容 国際ロータリーの公式機関誌として、全世界のロータリークラブ、ロータリアン、R.I. 役員らの活動ぶりを紹介し、この他に論説記事として各国の政治、社会、経済、科学などの分野における代表的人物による時宜に適した論文を掲載している。なお1961年の東京大会、および昨年のお阪万国博の際には、スペースの大部分を費して日本紹介の特集記事を掲載したこともある。購読料は年1,080円、米国及びカナダのロータリアンは必ずこの雑誌を購読する事になっているが、その他は各ロータリアンの自由意志に任かされている (以下省略)

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率%
46. 1. 20	44名	32名	12名		
46. 1. 13	44名	34名	10名	10名	100.00%
在函クラブ	(1/7)	(1/12)	(1/8)		
	函館R.C. 91.20%	函館東R.C. 96.39%	函館五R.C. 100.00%		

訂正：1月6日の当クラブの出席率が97.73%と報告致しましたが、郵便事情悪しき為その後判明した結果100%となつて居ります。訂正致します。

次回例会日 2月3日
 プログラム 「未定」

The Weekly Report

事務所 函館市若松町15-7拓銀ビル8階
 ローターリー合同事務所
 電話 (0138) 23-3870



of Hakodate North R.C.

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
 五島軒駅前支店
 例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 2. 3

1970~1971 第31号

第335回例会

BRIDGE THE GAPS

隔りを取り除こう

(ウオークR.I.会長指針)



立待岬

角谷隆一 会員

本日のプログラム

「次期役員選挙」

成功は最後の失敗の次に来ること多し カーネギー

第334回例会記録

◎司 会 木屋守迪会長 ◎斉 唱 それでこそロータリー

◎ビジター 小樽南R.C. 小松 清君 (保存食料品製造)
 函館R.C. 棟方 忠君 他3名
 函館東R.C. 辻常太郎君 他3名
 函館五R.C. 山本 裕君 他1名

◎会長報告
 次期R.I. 会長Roy D. HICKMAN (Birmingham, Alabama, U.S.A.) より所信が来て居ります。回覧致しますので御読下下さい。

◎幹事報告
 1. 第四回クラブアツセンブリーについて
 かねて皆様に御案内致して居りましたクラブアツセンブリーについて再度お知らせ致

します。現在返事をいただいた方は25名で、20名の方は未だ返信をよせられて居りません。日時もせまつて居りますので出来るだけ早く御返事下さいませ。準備の都合等もありますので確実な出欠有無をお知らせ下さる様かさねてお願い致します。

議題は「下半期のクラブ活動はいかにあるべきか」という事で御知らせしてありますが、その後状況の変化等もあり次の議事を検討していただく事となります。

即ちその1は会費値上の件であります。当クラブに於いては一昨年度会費の値上げを実施したのでありますが、その後の諸状況の変動のもたらす結果として此の問題が議論されなければならぬ状態にたち至つて居り、その点当日福田会計幹事の説明をまつてよろしく御討議下さいませ御願致します。

尚此の問題は当クラブのみの問題ではなく、在函4クラブ共通の問題でもあります事を付け加えます。何とぞ腹案をお持ちの上で御出席下さいませならば討議もうまく進行する事と思ひます。

その2はガバナー月信でも強調して居りますが、会員増強月間の問題についての件であります。此の点について推薦委員会からの要望もあり、具体的なアツセンブリーの議題として以上二項目について論議を交したいと存じます。従つて時間も18:00時~20:00時として御通知致しましたが、18:00時~20:30時に変更致します。

2. 交通遺児育英資金について

侯野第七分区代理より上記の件につき次の如き来信がありました。

拝啓 寒冷の候貴クラブますますご隆昌の段お喜び申し上げます。
先般交通遺児育英資金取りまとめに際しましては御高配をいただきありがとうございました。昭和46年1月20日に育英資金を交通遺児育英資金会宛送金させていただきました。厚く御礼旁々、御報告申し上げます。 敬具

なお第七分区に於ける総額は402,000円であり、うち当クラブよりの募金額は45,000円であつたことを御知らせ致します。

3. ローターアクトクラブ結成式

すでに報告してあります如く本日(1月27日)18:00時より市民会館に於いて、我々分区としてははじめてのローターアクトクラブの結成式典が行われます。

出席義務者として分区代理、社会奉仕委員長(インターアクト委員長)、会長、幹事及び理事が指名されて居りますが、会員各位に於いても多数御出席下さいませ。

4. 理事会開催について

社会奉仕委員会よりの要望があり、本日例会終了後理事会を開催致します。

◎ニコニコボックス

1. 酒井 会員：御誕生及び御結婚記念と二重のよろこび、おめでとうございます。
2. 成田 会員：1月24日、堂垣内尚弘氏後援会の渡島、桧山、函館連合会が設立され連合会事務局長就任を記念して。ありがとうございます。

☆入会記念日会員

2月入会記念日をもたれる会員は酒井、佐々木、岩塚、下郡山、角谷の五氏です。
よろしく御記憶の程お願い致します。

◆会員推薦のごこと

氏名	職業分類	役職名	推薦会員
やまもと かつみ 山本 克己	巻煙草製造	日本専売公社函館工場工場長	平野 義勝

★ロータリーの友を公式機関誌に

ガバナー月信第8信(46.1.15より)

ロータリーの友=ニュースによると公式機関誌である「The Rotarian」の発行部数は442,612部「Lepista Rotorian」46,546部「ロータリーの友」1~6月迄の平均53,000部、英国のR.I.B.I.の機関誌の「Rotary」発行部数は判らないが、40頁足らずの薄いもので官報のような編集の仕方である。

「友」1月号に佐々木、吉田両直前ガバナーの御意見でも「友」を公式機関誌にすべしと書いて居られる。此の運動は根強く続けるべきだ。「友」の川崎編集長(東京R.C.)によると、「毎年一回R.I.本部で非公式機関誌の編集長会議が行われるそうだが、「友」は常に体裁、編集共に世界中から高く評価されている」との事である。43R.C.の公式訪問中2R.C.が細則で全員が「The Rotarian」を購読して居た。

雑誌週間は「The Rotarian」を良く読んでロータリー情報をロータリーアン全員がよく身につけてもらおうと云う運動週間である。ロータリー情報をよく身につけるのであれば「友」をよく読んで居れば充分だと思ふ。或る人が東ヶ崎R.I.元会長に「The Rotarian」を全部日本語に訳して発刊したらどうか?と提案したら東ヶ崎さん曰く「いくら訳してもツン読では駄目だよ」と云われたそうである。「ロータリーの友」委員会では此のツン読会員を如何にしたら少く出来るかで、松方委員長はじめ衆智を結集して居る。吾々も此の週間を契機として精読会員になりたいものである。

◎ 雑誌週間について

岩塚雑誌委員長

本日はR.I.の雑誌週間の一日に当たりますので、雑誌委員会としてプログラムを担当致します。私自身ロータリーについては誠に勉強不足であり、昨年クリスマス家族懇親会の夜、駒井プログラム委員長より、本日の行事を申し渡されたのでありますが、以来いかにして有意義な週間行事を行うかについて苦慮の毎日が続き身の細る思いを経験致しました。幸にも当クラブの大先輩侯野、遠藤両先生の御指導をいただき、私自身も亦必死になつて勉強致しました。

会員の皆様には、しばらくの時間を復習のおつもりで私の話をお聞き下されます様、しかもこれが奉仕活動の一助にもなり得ますならば尚に幸せな事と思ふのであります

雑誌週間につきましては会員皆様御承知の如くThe Rotarianの誕生(1911年1月を記念して、毎年一月最後の週を雑誌週間と指定し、国際ロータリーに加盟して居る各R.C.が公式機関誌である「The Rotarian」、Revista Rotariaに関するプログラムを上演すべき事を決定したのがそれです。本年は1月24日より31日迄がその週間になつて居ります。そしてその目的は「The Rotarian」及び「Revista Rotaria」に対する会員の認識と関心を深め、それによつて購読部数の増加をはかることにあるのであります。アメリカ及びカナダでは「The Rotarian」は必ず購読しなければならぬと規定されて居りますが、その他の国では各ロータリアンの自由意志に任かされて居ります。しかし当クラブでも三部それが送られて来て居りますので御希望の方は読んでいただきたいと思ひます。

我が国には「ロータリーの友」なる編集、内容共に勝れた機関誌があり、「The Rotarian」に掲載された主な記事のほん訳ものつて居りますので「友」を読めば事足りるのではなからうかと思ひます。要は配布される雑誌或いは文献を読むという事が大事な事であろうと痛感致します。要は雑誌週間を一つの契機として内外の文献により多く接し、ロータリー精神を学びとる事こそ雑誌週間の大なる目的であろうと解釈して居るのであります。次にパンフレットNo.35-Jから参考資料を抜粋致します。

手続要覧142頁に「国際ロータリーの文献(Publications of R.I.)」という頁目があります。此の中から二、三をお知らせ致します。先づ文献委員会(Publications Committee)の項では「国際ロータリー細則は、文献委員会を国際ロータリーの常任委員会として規定している。この委員会の任務は機関誌も含め、国際ロータリーのすべての文献に関し国際ロータリー理事会と協議することである。」と云つて居ります。

次いで機関誌(Official magazine)を国際ロータリー理事会は、ロータリーの機関誌である月刊雑誌を刊行する。雑誌は理事会の命ずる処により数版刊行される。

現在は2種類の版が発行されている。即ち基本版である英語のTHE ROTARIAN及

びスペイン語版のREVISTA ROTARIA がそれである。」となつて居ります。編集方針については「雑誌は、各ロータリアンにロータリーの綱領及び奉仕の理想を注入する事を推進し且つ努めなければならない。それは、国際的特質を強調しつつロータリーの既定計画を支持し発展せしめなければならない。斯様な方針は、大会及び理事会の決定事項を反映し、且つ四つのテストによつて判断されなければならない。(以下略)」となつて居ります。

次いで**広告方針**が詳細にわたつて書述されて居り結論的にはロータリアン誌上での広告という項目で「理事会(1967~68)は下の如し合意した、広告の勧誘、掲載に当つては、国際ロータリーは、既定方針に添うよう、慎重に判断して来たり、又判断するものである。国際ロータリーは、誌上に掲載された広告主、商品又は営利的申し出を保証したことなく、又保証するものではない。国際ロータリーは、雑誌の広告欄をもつて提供された商品や役務に関して、財政的責任又は義務を引受けたことなく、又引受けるものではない。」と述べて居り掲載に関するすべてを言いあらわして居ります。以上

パンフレット「No.35-」より引用して申し上げます。さて我々がロータリー文献を活用する段になりますと、言語の相違、翻訳の技量その他多くの障害がその活用を困難にして居るのであります。此の事実に対して或るバスターガバナーは「ロータリーの友」に次の様な意見を寄せて居り一部省略のまま御知らせ致します。「ロータリアンがロータリーの事を知らないのでは交通規則を知らないドライバーのようなものである。

ロータリアンには一般的資格の外には別に知識についての条件はない。つまりは自分で勉強する以外はないのである。その勉強の素材とも道具ともなるのがロータリー文献である。(略)

私がかつて1965年に国際ロータリーの文献委員をした時に、中央事務局から送られて来た文献の種類と、数量の多いのには驚ろいた。これに全部目を通すという事は、別に自分の仕事を持つて居るロータリアンには到底出来ることではない。またその必要もない。(略)私はこのように数多くの文献を、特殊の人は別として、一般のロータリアンに読めといつても事実上無理なので、基本的に必要な事項だけを要約してロータリアン必携のようなものを作つたらと提案した(以下略)」と書いてあります。誠に我々にとつては身につまされる提案であり、実現を切望するものであります。最後に雑誌週間の運営については「ロータリー問答」の293ページに掲載されて居りますので、御参考にしていただきたいと思ひます。

次いで侯野会員より文献活用のデモンストレーションとして興味ある記事の紹介が行われた。今回はTHE ROTARIAN 1970.11月号に掲載されたCharles S. Stevenson氏の「サービスは、いずこへ」という記事の読後感でありました。世界各国のサービスの様々を述べたものであり誠に興味ある読みものであります。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率%
46. 1. 27	44名	38名	6名		
46. 1. 20	44名	32名	12名	9名	93.18%
在函クラブ	(1/14) 函館R.C. 89.12%	(1/19) 函館東R.C. 96.42%	(1/15) 函館五R.C. 祝日休会		

次回例会日 2月10日
プログラム 「急性腹症について」
遠藤会員

The Weekly Report

事務所
函館市若松町15-7拓銀ビル8階
ロータリー合同事務所
☎. (0138) 23-3870



of Hakodate North R.C.

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 2 10

1970~1971 第32号

第336回例会

BRIDGE THE GAPS

隔りを取り除こう

(ウオークR.I.会長指針)



立待岬

角谷隆一会員

本日のプログラム

「急性腹症について」

遠藤尚義 会員

第335回例会記録

- ◎司 会 木屋守迪会長 ◎齊 唱 奉仕の理想
- ◎ビジター 中湧別R.C. 浜田清治君 (缶詰製造)
小樽南R.C. 小松 清君 (保存食料品製造)
士別R.C. 岡田小治君 (酒類販売)
函館R.C. 葛西知二君 他5名
函館東R.C. 蓬台俊作君 他6名

◎ニコニコボックス

- 誕生祝 藤林会員、本間会員、おめでとうございます。
- 結婚祝 藤林会員、山本会員、おめでとうございます。
- 入会記念 角谷会員、下郡山会員、おめでとうございます。